

## 2001年 9.11同時多発テロ ハイジャック4便とビル崩壊の動き 一覧

<b>アメリカン11便</b> 乗員・乗客 92名 (犯人5)	<b>ユナイテッド175便</b> 乗員・乗客 65名 (犯人5)	<b>アメリカン77便</b> 乗員・乗客 64名 (犯人5)	<b>ユナイテッド93便</b> 乗員・乗客 44名 (犯人4)
<p>07:59 ボストンを出発 ロサンゼルス向け</p> <p>08:20頃 <b>ハイジャック発生</b> :27 針路変更 :38 ボストン管制がジャック宣言、他の機に待避指示</p> <p>08:46 <b>WTC北棟に突入</b> 93～99階に突っ込む 77階と22階で爆発 《軍機発進は間に合わず、待機へ》</p> <p>09:00～ 消防と救助活動開始</p> <p>10:00 救助ストップ・避難指令 10:04 市警ヘリ隊が崩れを予告</p> <p>10:28 <b>約10秒?で崩壊</b></p>	<p>08:14 ボストンを出発 ロサンゼルス向け</p> <p>08:42頃 <b>ハイジャック発生</b> 針路を変える 08:52 乗務員が社へ通報</p> <p>09:03 <b>WTC南棟へ突入</b> 77～85階に突っ込む すぐ火災発生、救助開始</p> <p>09:37 106階から市へ通報 「下の階が崩れ始めた」。 救助隊が79階へ至る</p> <p>09:59 <b>約10秒で崩壊</b></p>	<p>08:20 バージニアを出発 ロサンゼルス向け</p> <p>《08:40 防空司令部へ第一報 11便の追跡命令出る 08:52 スクランブル発進》</p> <p>08:51 <b>ハイジャック発生</b> 針路変え、機影消える</p> <p>09:08 インディアナポリス管制は 搜索通信、通じず</p> <p>09:20 司法長官に家族乗客から 通報、位置を確認できず</p> <p>09:35 国防省へWTCの件報告</p> <p>09:37 <b>ペンタゴンへ激突</b> 西側1～2階へ突入 爆発、一部炎上</p> <p>09:57 西側が部分的に崩れる</p> <p>10:15 <b>4階～1階まで崩壊</b></p>	<p>08:42 ニュージャージー出発 サンフランシスコ向け</p> <p>09:24 社から乗っ取り警告</p> <p>09:28 <b>ハイジャック開始</b> クリーブランド管制が メイデイ無線を傍受</p> <p>09:41 針路変え、東へ戻る <b>連邦航空局、全機着陸指令</b></p> <p>09:59 乗客ら操縦席に突入</p> <p>10:03 <b>ペンシルベニア州 シャンクスビルで墜落</b></p> <p>《★突入目標は? ホワイトハウスか議事堂 だったと言われる》</p>
<p><b>【ハイジャック犯人】</b></p> <p><b>モハメッド・アッタ</b> アブドル・アジズ・アル・オマリ サダム・アル・スカミ ワイルイ・アル・シェヒリ ワリード・アル・シェヒリ</p>	<p>マルワン・アル・シェヒリ フェイズ・バニハンマド モハンマド・アル・シェヒリ アフメド・アル・ガムディ</p>	<p>*ハーリド・アル・ミフダル *ナワフ・アル・ハズミ サリム・アル・ハズミ マジド・モキード ハニ・ハンジュール</p>	<p>(リーダー格は入国できず) サイド・アル・ガムディ アフメド・アル・ナミ アフマド・アル・ハズナウイ ジアード・ジャッター</p>

### 【死者数】

WTC北棟 約1700人    WTC南棟 約900人    ペンタゴン 189人    シャンクスビルは野原  
消防局ほか救助隊で殉職 403人    ビルの死者 2602人 (行方不明と未発見遺体が1100人以上と推定)

★ハイジャック犠牲者 合計246人 + 実行犯 19人 (いずれも全員死亡)

ハイジャック共犯者とされる何人かが取り調べられ、拷問まがいの尋問結果が裁判の証拠になるか論争中

## ■アメリカ同時多発テロ Wikipedia■ から抜粋

### ●ハイジャックされた旅客機

2001年9月11日朝(現地時間)、マサチューセッツ州ボストン、バージニア州ダレス(ワシントン近郊)、ニュージャージー州ニューアーク各空港を発った4機の旅客機が、モハメド・アッタを中心とするアラブ系のグループによって、ほぼ同時にハイジャックされた。彼らは操縦室を乗っ取り、自ら操縦し、2機をニューヨーク・マンハッタンへ、残りの2機をワシントンD. C. へ向かわせた。

これら4機が国内線の中では長距離飛行ルートを飛ぶものであったのは、いずれも燃料積載量が多く、衝突後の延焼規模を大きくすることを狙ったと推測する者もいる。なお、ハイジャックされ墜落した各機の乗員・乗客は全員死亡している。

### ●被害/世界貿易センター(WTC)ビル

～～【前略】～～

高速で突入したボーイング767によってビル上部は激しく損傷、漏れ出したジェット燃料は縦シャフトを通して下層階にまで達し、爆発的火災が発生した。次いで火災による鉄骨の破断でタワーは強度を失い、9時59分に南棟(WTC2)が、突入を受けた上部から砕けるように崩壊した。北棟(WTC1)も10時28分に南棟と同様、砕けるように崩壊した。

ツインタワーは、北棟で人的被害が大きく、死者は約1700人(救助の消防士を含む)であった。特に突撃を受けた92階以上に被害が多く、この階以上の在館者全員が死亡したと言われている。それは航空機に突入されたフロアの階段が破壊され炎上し、避難経路が遮断されたためである。

南棟も同様に炎上したが、こちらは旅客機が外側に少しそって激突し、反対側の階段が損壊や延焼を免れたため、突入フロア以上でも延焼の少なかった部分にいた十数名は、無事避難することができた。突入前の避難者も含めると約7割の人が生還している。～～また、タワー崩壊後も館内で奇跡的に生き残っていた人も数名おり、当日夕方救助された。

北棟および南棟の崩落による影響で、敷地内の他の4つのビルも崩落・炎上し、8時間後に敷地が北隣の高層ビル：世界貿易センター7号棟とともに崩落。道路は完全に閉鎖、WTCの地下をターミナルとしていた地下鉄やパストレインもトンネルの崩落で走行不能に陥った。～～ニューヨークでは合計で2749人が死亡するという大惨事になった。

### ●国防総省本庁舎(ペンタゴン)

～～【前略】～～

アメリカ国防総省本庁舎(ペンタゴン)は、9時38分に77便の突入を受けた。大爆発が引き起こされてビルの一部は炎上し、10時10分に4階が崩落、15分に1階までが崩壊した。77便の乗客・乗員全員が死亡、189人の国防総省職員も死亡した。

**激突の瞬間の映像がペンタゴンの駐車場のカメラによって記録され、すぐにFBIによって回収、調査された。**

事故現場はボーイング757の機体の判別が困難なほど焼けたが、ビルの倒壊は1番と2番で抑えられた。またこの部分は長官執務室の反対側であり、補強工事中でふだんよりも職員が少なかったことが被害を抑えた。

世界貿易センタービルへの突入の影響で情報は錯綜し、最初の報道は単なる爆発炎上というだけであったが、のちに付近を通行中のドライバーや歩行者によってアメリカン航空機が北側から旋回して激突したとの目撃証言された。

### ●(テロ事件の)捜査

この事件においてはハイジャック犯の機器操作ミスによってコックピット内の会話が管制室に入るようになり【特にユナイテッド93便】、アラビア語を話していることから、おそらくはアラブ人が犯人であると早期に推測できた。

また、客室乗務員は機内電話を使用して会社へハイジャックを報告し、犯人の特徴・人数と座席番号を伝えた。このため、**航空会社は 犯人の氏名・住所・電話番号からクレジットカードの使用履歴までを把握** することが可能となった。

数名の乗客も携帯電話や機内電話で家族・友人にハイジャックの事実を伝え～～これらはほとんどが機体の破壊まで続いた。

このうちいくつかは録音されており、事件調査に使用された。

### ●(アメリカ政府の)犯人引き渡し要求

アメリカ政府はこれら捜査結果から、このテロ攻撃がサウジアラビアのオサマ・ビンラディンをリーダーとするテロ組織「アルカーイダ」によって計画・実行されたと断定し(アルカーイダは否定しなかったが、肯定もしていない)、彼らが潜伏するアフガニスタンのタリバーン政府に引き渡しを要求した。

しかしタリバーン側は「証拠があれば引き渡す。今の段階ではアルカーイダのやったこととは断定できない」と主張し、引き渡しを拒否。これに対してアメリカ合衆国軍はタリバーン政権への攻撃を開始した。なお、湾岸諸国会議【湾岸戦争に関与した国々の協議機関】のアラブ諸国もテロ攻撃を批判し、アフガニスタン攻撃を支持する声明を出した。